



Change! 2022 ニュース

No. 31

Change! 2022 推進委員会 2022. 1. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「 Yとワイズの人もうけ 」

ワイズ・YMCAパートナーシップ委員会リエゾン
 東日本区国際・交流事業主任

山田 公平 (宇都宮)



私は、いくつかの YMCA で 40 年近く仕事をしてきました。1984 年に東京から宇都宮 YMCA へ出向となり、そこでワイズに入会しました。その後、転勤で東京や香港にも行き、各地のワイズに入りましたが、それぞれ全く違う理解であることも知りました。

YMCA 定年退職と共に、ワイズと YMCA を結びリエゾン役となり、東西日本区ワイズと全国 YMCA のパートナーシップをどう生み出すかを検討してきました。そこでたどり着いたのが「ユースアクション」です。ユースのエンパワメントは、人と社会のために行動し、自信や確信を得ることで、YMCA の大切な目的です。ユースが社会的課題(2030 年を目標に定めた国連の持続可能な開発目標 SDGs)に取り組み、その働きを通してユース自身がエンパワーされていくというものです。

今回、ワイズの東西日本区および日本の YMCA 合同で提案されているのは、ユースアクションを呼びかけようというもので、各地の YMCA とその地のワイズがその地域のユースに呼び掛けて地域社会の課題に目を向け、解決への行動計画を提案し、実行する機会を生み出していこうとするものです。活動を実行するのは地元の若者たちで、その地域のワイズと YMCA が話し合ったり、ユースを応援したり、報告会を開いたりすることになります。できる形でその活動を応援するというもので、何か社会のためにしたいという若者たちの気持ちを実現させ、それを支えることになります。これこそがユースのエンパワメントになると確信しています。ワイズと YMCA にとっても、協働プロジェクトとして意味ある活

動が、各地域で行われることとなります。報告会は地元新聞やラジオ、SNS などで紹介され、プロジェクトの成功は地域の未来のリーダーシップ育成にもつながるでしょう。

こんな活動を、初年度である今年の 4 月から来年 1 月まで行います。初年度は、東西日本区で 5 つずつ、合計 10 のプロジェクトが行われます。そんな活動をするワイズと YMCA は、その地域で存在意義を明確に提示することにもなるでしょう。

ワイズの人たちにとって YMCA は『人もうけ』のビジネスだと言われたことがあります。まさに若者のやる気を形にして、人を育成し、自信がわき、人や社会の役に立ちたいと思うような人材を生み出す『人もうけ』をすることになります。そんな YMCA やワイズは地域に必要な団体として注目されるのではないのでしょうか。

「ワイズって何をしているの？」そんな質問に答える活動になるのではないのでしょうか？ それが、「ワイズと YMCA の人もうけ」ではないのでしょうか。

《 山田公平さんのプロフィール 》

- 1949年7月12日 東京生まれ
- 1984年4月 宇都宮クラブ入会、以降職場異動に伴い、東京グリーン、東京武蔵野多摩、香港 Tsim Sha Tsuiクラブ、そして再び宇都宮クラブに転会
- 2016 - 2022年 ISD、ASDリエゾン
- 2017 - 2022年 ワイズYMCAパートナーシップ委員会リエゾン
- 2021 - 2022年 東日本区国際・交流事業主任
- YMCA 歴
- 1977 - 1979年 アメリカ・ボルチモアYMCA職員(老人プログラム開発)
- 1979 - 1984年 東京YMCA英語専門学校主事
- 1984年から とちぎYMCA出向、86年から総主事
- 1995年から 東京YMCA専門学校統括
- 2002年から 日本YMCA同盟、04年から総主事
- 2009年から アジア太平洋YMCA同盟総主事
- 2015年末 退職、帰国

▼ 各部署で取り組む新クラブ設立の動き

▶北東部 エクステンションの取り組み

北東部次期部長 大久保 知宏 (宇都宮)



北東部でのエクステンションの取り組みは、栃木県内にローカルクラブを作り、栃木県を離れて暮らしている方をグローバルメンバーとする『グローバルクラブ』の設立を目指しています。

ローカルメンバーとしては、学生時代にとちぎ YMCA のユース・リーダーとして活動して、卒業した後にとちぎ YMCA に就職したスタッフに声をかけています。また、グローバルメンバーとしては、とちぎ YMCA で活動したユース・リーダーで、就職のため県外に在住する人を対象としています。

設立のための会議は 21 名の LINE のグループ通話機能を使って、不定期に開催しています。その会議で常に議論されているのは、新クラブのミッションを何にするかということです。世話役として私から最初に「現役リーダーのメンターとなる」ということを提案いたしました。その提案は、とちぎ YMCA が実施した Zoom でのリーダートレーニングで、リーダーを卒業し、小学校教諭として働く OG がチャーターとして参加したのを見たことでも思ったものです。

今、設立のための会議は、その提案から発展させてミッションを検討している段階です。ミッションをメンバー間で共有することは、時間がかかる作業となっていますが、この作業はクラブ設立のための必須のプロセスと考え、サポートしています。21 名の中から 10 名程度に絞って年度内にチャーターすることを目指しています。

▶関東東部 エクステンション報告

関東東部エクステンション委員長

金丸 満雄 (東京ひがし)



関東東部のエクステンションは、千葉ウエストクラブに続いて、茨城 YMCA 牛久センター「オリーブ保育園」(2020 年開園)を拠点とする新クラブ設立を目指しています。

しかし、勢いに乗って、次のエクステンションに向け先走りをしてしまいました。中心となる茨城クラブへの説明不足と協力要請が後回しとなり、大変ご迷惑をかけてしまいました。こ

のことを深く反省し、スタートラインに戻し、蒔いた種を腐らせず、希望をもって開花(新クラブ誕生)を目指します。

▶東新部 エクステンションの取り組み

東新部エクステンション委員長

太田 勝人 (東京町田スマイリング)



東新部エクステンション委員長として、次の 2 か所に新クラブを設立すべく考えて行動してきました。コロナ禍での制約がありましたが、ご報告いたします。

1. 「(仮)東京新宿地域ワイズメンズクラブ」

今期松香光夫部長、村野繁 EMC 事業主査、小川圭一元部長、権藤徳彦部書記等、幹部を交えて、「新クラブ設立作戦会議」を昨年 7 月と 10 月にオンラインにて開催しました。

新宿・早稲田教会(古賀博牧師かつ東京 YMCA 評議員会会長)の聖歌隊とオレオス会の皆さまを中心にした新クラブ設立を目指して先期にお会いし、ワイズのプレゼンをさせて頂いたところでコロナ禍となり、2 年間会合が持てませんでした。先月 12 月には X'mas を祝って会合があるかと伺いましたが、感染回避のため中止とのご返事でした。

「音楽を愛する方々」ですので、東京世田谷クラブが 17 年継続しています歌声広場“YMCA すずらん会”の活動を約 6 分に納めたものを USB に編集して次回お見せし、候補者を募る準備をしています。特に小川ワイズと一緒に支援してくれますこと、そして 7 月からの深尾香子部長年度でエクステンション委員長を引き継いでいただけることで、花が開くものと確信しております。

2. 「(仮)新潟地域ワイズメンズクラブ」

昨年 12 月に、お茶の水にある YWCA にて開かれた「YMCA/YWCA 合同祈祷会」に松香部長と権藤部書記にご参加してもらい、YWCA の尾崎さんに、新潟にワイズの新クラブを設立したい希望を伝えたところ、快く「新潟 YWCA の会長横山由美子さんをご紹介してくださいました」。横山会長から「(東京にいる)尾崎さんのご紹介もあり、ワイズの方にご連絡いただけるようで感謝です」との反応を頂きました。23~24 年前、新潟クラブは一旦できましたが解散となりました。原因は当時のメンバーであった歯医者さんに聞いております。

その原因から“最初から堂々とワイズはクリスチャニテ

イーを根底に据えています”と伝えて攻めていきます。その意味でもYWCAの方々を味方にして今後展開し、次期深尾香子部長年度につないで参ります。

▶あずさ部 エクステンション委員会報告

あずさ部エクステンション委員長

菰刈 光彦 (東京サンライズ)



あずさ部エクステンション委員会では、新クラブ設立準備状況2件を把握しております。

1. 「甲府駅北口の新クラブ」

一つは、甲府クラブによって進められている甲府駅北口の新クラブです。そのプロジェクトの委員長

仙洞田安宏さん(甲府)より報告をいただいております。

準備会は2019年5月に第1回を開催、以降新型コロナウイルス感染予防のため中止を余儀なくされていましたが、昨年12月10日までに15回開催。

この間に、クラブ名(甲府やまなみワイズメンズクラブ)、会則案、会費、例会日、一部の役員等を決め、現在の会員予定者は8名です。

今後のスケジュールとして、本年1月から3月は仮例会形式にして、ワイズメンズクラブの歴史、組織、事業等について学び、新型コロナウイルスの状況にもよりますが、4月から5月に設立総会を、6月から7月にチャーターナイトを实行したいとのことです。

以上、甲府クラブのブリテン1月号をご覧になっていただき、1月14日に行われる新クラブ仮例会の報告をお待ちください。

2. 「文京アフタヌーンクラブ」

もう一つの新クラブ設立の動きは、2018年4月から東京YMCA午餐会に集うシニア対象で準備会を開催、2020年2月までに毎月23回の準備会を行った文京アフタヌーンクラブです。クラブ・部を超え参加の方々は延111名、大風呂敷を広げたのですが、2020年3月からの新型コロナウイルス蔓延防止等で、拠り所だった午餐会は隔月開催から完全中止となり、新クラブ準備会も開催延期となりました。

2021年10月、緊急事態宣言解除後に、予定されていたメンバーから入会希望の意思を示され、まずは来る2月23日(祝)のピンクシャツデーのつどいから準備会を再開します。この4~5名のメンバーを軸に、新たに来られる方はもとより、今まで参加して下さった方々の参加も募ります。1月・2月の報告をお待ち下さい。

今月24日(月)の拡大EMC事業委員会を受けて、28日(金)に、部エクステンション委員会を開催します。

▶湘南・沖縄部「キーパーソン大作戦」

湘南・沖縄部エクステンション委員長

辻 剛 (横浜つづき)



湘南・沖縄部は昨年末に、沖縄クラブと沖縄那覇クラブが解散するという大変ショッキングな出来事が起きました。この事実はワイズにとって色々考えること、考えさせられることを沢山内包しています。突然クラブが2つなくなって、会員“増強”どころか“原状回復”すら厳しい状況に直面し、エクステンション委員長としてはだいぶ慌てました。

そこで第2回エクステンション委員会(11/22)では、先ず部の達成目標を見直し、下方修正(150名→130名)しました。しかし、新クラブについては強い決意のもと、これまで通り2クラブ設立という目標を変えず、対応することにしました。

そちらは言うまでもなくどう対応するかが問題でした。昔から新しいクラブを作る時には、「キーパーソンの確保」が一番大切といわれています。幸いワイズには、長い人生を生きてきて沢山の知人・友人を持ち、豊富な人脈を持っているキーパーソン適格者が沢山います。キーパーソン大作戦には高齢者をもっと頼りになる存在なのです。会員の高齢化と嘆くのではなく、デメリットをメリットにする良いチャンスと考えました。

そうは言ってもどう対応するかが問題でした。昔から新しいクラブを作る時には、「キーパーソンの確保」が一番大切といわれています。幸いワイズには、長い人生を生きてきて沢山の知人・友人を持ち、豊富な人脈を持っているキーパーソン適格者が沢山います。キーパーソン大作戦には高齢者をもっと頼りになる存在なのです。会員の高齢化と嘆くのではなく、デメリットをメリットにする良いチャンスと考えました。

そこでキーパーソンをチーフとする5、6人のチームを2つ作り、そのチームメンバーに更にキーパーソンを集め、クラブ設立に取り組んでもらうことにしました。一つは**若木一美チーム**(加藤利榮、久保勝昭、佐藤節子、浦出昭吉、菅沼義久/OB)、もう一つは**板崎淑子チーム**(千葉裕子、秋元美晴、古田和彦)です。これぞまさにキーパーソンのかたまりのような顔ぶれです。

若木チームは、沖縄那覇クラブの再建が目標です。それが難しい場合は、沖縄で一人でも二人でも候補者を確保して「沖縄グローバルクラブ」の設立を目指します。沖縄YMCAをサポートするワイズメンズクラブがないという空白期間をできるだけ短くしたいと考えているからです。年内に何人かの元那覇クラブのメンバーに接触する予定です。

板崎チームは、東京ベイサイドクラブなどをお手本にしながら、横浜YMCA傘下の保育園の保護者および

その友人、知人を中心としたクラブを設立したいと考えています。

横浜 YMCA には 50 弱の活動拠点(内保育園 14)があるのに、ワイズメンズクラブがたったの7つしかありません。既に横浜 YMCA の保育事業総括本部長にコンタクトを開始しました。両チームとも、第 6 波の到来が懸念されるなど、相変わらず活動が制約されていますが、湘南・沖縄部は部がスポンサーであり、両チームに対する準備委員会もエクステンション委員会委員が全員兼務で対応しています。必ず新クラブを設立すべく、部とエクステンション委員会を挙げて取り組んでいます。

▼ 各部 会員増強事業主査より

「 関東東部の会員増強事業 」

関東東部主査 金丸 満雄 (東京ひがし)



会員増強の EMC は、E:クラブ 拡張・MC:会員の維持啓発と増強です。

E: 拡張と拡大つまり新クラブ作りです。新しいクラブを作るにあたっては、それなりのエネルギーが必要です。スポンサークラブの絶

大な協力と、チャーターメンバーの意欲が合体すれば誕生します。前期「千葉ウエストクラブ」が設立されました。引続き茨城県牛久に新クラブ設立の準備がされようとしています。

MC: 会員維持啓発と増強は、長年の課題として毎期様々なアイデアで取り組んでいます。現在、東日本区の“Change! 2022 プロジェクト”が進行中で、フェイスブックの活用、SNS 使用(“動画でわかるワイズメンズクラブ”)でワイズの PR、入会候補者を招いての“Y's Night Forum”の実施等々、新しいツールを考えだし、これまでと違った会員増強運動が推進されています。部内でも大いに活用することを薦めていきたいと思えます。クラブ維持は、士気の向上です。外部からみても魅力あるクラブにする。そのクラブらしさを生かし発展するクラブとする。

以上の会員増強事業の原点を掘り起こし、所属クラブにかなった増強運動をメンバーが一枚岩となって取り組んでいけば、必ず結果が出ると思います。一人の入会、一つの新クラブ設立が士気向上につながることを期待します。

関東東部での会員増強運動は、『E:笑顔で、M:もっと、C:クラブ活動を』(2020-2021 年度 EMC を考える集いより)、を合言葉に、そして CS・Y サ事業とのコラボを奨励し、会員増強を進めていきます。



【千葉ウエストクラブ・チャーターナイト 2020.10.3】

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)

12 月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No.	新入会者 (クラブ名)	紹介者
1.	Materna Weili (那須)	河野 順子
2.	藤井 千枝子 (鎌倉)	千葉裕子・日下部美幸
3.	佐々木 清勝 (東京多摩みなみ)	石田 孝次

東新部 EMC セミナー

「 Change! 2022 ラストスパート 」

日時: 2022 年 2 月 12 日(土)13:30~15:30

場所: 東京 YMCA 東陽町センター

対面式 & Zoom

内容: 下記 3 人の発題者からプレゼンをいただき、ワイズの将来を共に考えたいと思います。

- 発題者 1 伊藤幾夫 (LT 委員長、東京多摩みなみ)
「プロジェクトの振り返り」
- 発題者 2 深尾香子 (次期部長、東京多摩みなみ)
「ラストスパートの具体策」
- 発題者 3 城井廣邦 (次々期部長、東京むかで)
「ポスト 2022 を展望」

発題を受けて、グループに分かれて話し合い、グループ報告を行います。

参加申込: 伊藤幾夫 (東新部 LT 委員長)

itoh@zc4.so-net.ne.jp

当日参加 Zoom アドレス:

<https://zoom.us/j/4745332601?pwd=Q2VqQ0Vqc056WlVfU3JnWWVzemlTUT09>